

報道関係者各位
(プレスリリース)

2015年10月20日
株式会社 アイリッジ
代表取締役社長 小田 健太郎
(コード番号:3917 東証マザーズ)

**アイリッジ テクノロジー企業ランキングプログラム
第13回「日本テクノロジー Fast50」で5位を受賞
～ 直近4年間で、763%の売上高成長 ～**

株式会社アイリッジ(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:小田健太郎、以下「アイリッジ」)は、有限責任監査法人トーマツが発表したテクノロジー・メディア・テレコミュニケーション(以下、TMT)業界の収益(売上高)成長率ランキング、第13回「デロイト トウシュ トーマツ リミテッド 日本テクノロジー Fast50」において、直近4年間の売上高成長率763.69%を記録し、50位中5位を受賞しましたので、お知らせいたします(ランキングの詳細は、<http://www.deloitte.com/jp/fast50/2015>をご覧ください)。

このランキングは、デロイト トウシュ トーマツ リミテッド(以下 DTTL)が世界約40カ国および北米・欧州・アジア太平洋地域の3地域ごとに実施しているランキングプログラムの日本版で、TMT業界での成長性や成功のベンチマークとなっています。上場・未上場企業を問わず TMT 業界に含まれる企業からの応募をもとに、直近4決算期の収益(売上高)成長率の上位50社がランキングされます(プログラムの詳細は、<http://www.deloitte.com/jp/fast50>をご覧ください)。

【直近4年間の成長要因】

アイリッジは、「インターネットを通じて、世の中に新しい価値を創り続けていく」という理念のもと、企業のO2O支援を行っている会社です。

当社のO2O支援はスマートフォンを利用したもので、①位置情報×プッシュ通知のO2Oソリューション「popinfo(ポップインフォ)」の提供、②popinfo を搭載したO2Oアプリの企画・開発に加え、③集客・販促等を中心とした企画・運用支援(O2Oマーケティング)を行っております。

アイリッジが直期4年間で売上高成長率763.69%を達成した要因として、以下の外部要因と内部要因があげられます。

<外部要因>

外部要因として、スマートフォンの普及と、それに伴い企業のスマートフォンを活用したマーケティング活動が活発化・浸透してきたことが、アイリッジの成長の後押しになっております。

今後もスマートフォンの普及率の上昇が見込まれており、外部環境は良好に推移するものと見込んでおります。

スマートフォンの普及率

2015年3月末の普及率 54.1%^(注1)

2019年3月末の普及率(予測) 70.9%^(注2)

<内部要因>

効果的なO2Oを実現するためには、O2Oアプリの開発・リリース後も、『新店舗のオープン、季節的なイベント等に応じたアプリ内企画』、『利便性向上や機能追加等』に継続的に取り組み、アプリを通じた企業とユーザーとのコミュニケーションの活性化を図ることが重要となります。

アイリッジは、O2Oソリューション popinfo の提供やアプリ開発に加え、O2Oマーケティングの支援まで包括的に手掛けていることが特徴となります。

アプリ開発にあたって、またアプリ・リリース後も、技術力と企画力を両輪として、ワンストップでサービスを提供できる会社であることが、成長の要因になっております。

(注1) 出所: 株式会社 MM 総研「スマートフォン契約数および端末別の月額利用料金・通信量(2015年3月)」

(注2) 出所: 株式会社 MM 総研「スマートフォン市場規模の推移・予測(2014年4月)」

足元では、popinfo やアイリッジの開発するO2Oアプリは、小売や商業施設等に限らず、金融機関に採用されるなど、コミュニケーションツールとして、業種を問わず、ご活用いただいております。

また、集客・販促機能に留まらず、ユーザーに快適な消費体験を提供するアプリ決済や、より精度の高い情報配信を行うためのターゲティング機能の整備等、サービスラインナップの拡充を図っております。

アイリッジは今後も最先端のO2Oソリューションの提供を通じて、企業とユーザーとのコミュニケーションの活性化を図り、企業のO2O支援、コミュニケーション支援に組み込み、さらなる成長を目指してまいります。

■本件のお問い合わせ

株式会社アイリッジ 担当: 広報担当

e-mail: pr@iridge.jp Tel 03-6261-3863 FAX 03-6261-3864